

はじめに

平成の時代は、いま終止符が打たれようとしています。この30年はまさに激動の時代でありました。とりわけ、少子高齢社会の到来がわが国、ひいては地域の社会構造に与えたインパクトは大変大きく、増加する高齢者に対応した施策展開を強力に推進していく必要があります。小国町においても平成30年4月時点の高齢化率は38.5%、現行計画を策定した5年前と比較して+4.5ポイントと高い伸びを見せています。また一方で、全国的にも平均寿命が伸びており、長い生涯にわたって健康で心豊かに過ごすことができる環境づくりが一層求められています。

国では、第2次の「健康日本21」を策定し、子どもから高齢者まで全ての国民が共に支え合いながら希望や生きがいを持ち、それぞれのライフステージに応じて、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指しています。

小国町においては、平成15年度に「第1期小国町健康増進計画」を策定して以降二度の改定を経て、平成25年度に策定した「第3期小国町健康増進計画」では、「生活習慣の改善」、「生活習慣病等の発症と重症化の予防」、そして「地域で支える健康づくり」を目標に、生涯を健やかで自分らしく暮らすことができる町づくりに向けて多様な施策を展開してまいりました。

この度、引き続き町民皆様の健康増進を進めていくため「第4期小国町健康増進計画」を取りまとめました。生活習慣の改善を通じて、発症と重症化の予防を図るとともに、地域で支える健康づくりに鋭意取り組んでまいります。また、本計画に自殺対策基本法に基づいた「自殺対策計画」を包含することとし、町民の皆様の心身の健康を包括的に支援する施策を体系化いたしましたので、健康増進の取り組みと合わせ、一体的に展開してまいります。

私は、今般策定した第5次小国町総合計画基本構想において、本町の目指すべき姿として「自然を愉しみ みんながわくわくする 白い森の国おぐに」を掲げました。その実現にあたりましては、町民皆様が、健康で心豊かに過ごすことが基本となりますので、本計画に取りまとめた施策を着実に実施し、目標の実現に向け取り組みを進めてまいります。関係機関及び団体、そして町民の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定にご協力をいただきました「小国町健康づくり推進協議会」委員の皆様をはじめ、アンケート調査や「健康づくり懇談会」において貴重なご意見を賜りました多くの町民の皆様、関係各位に深く感謝を申し上げます。

平成31年3月

小 国 町 長      仁 科 洋 一